

# 平成21年度 学校自己評価システムシート ( 県立三郷特別支援学校 )

目指す学校像	児童生徒・保護者及び地域社会の期待に応え、信頼される元気な学校
--------	---------------------------------

重点目標	1 個別の指導計画に基づく授業の充実・改善 2 開かれた学校づくりと特別支援教育のセンター的機能の発揮 3 進路指導の充実 4 教育力を高める学校基盤強化
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	10名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 1 月 2 7 日 現 在 )		
年 度 目 標					評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業については平成20年度実施の保護者アンケートで概ね肯定的評価を受けた。</li> <li>保護者アンケートの結果に基づき昨年度策定した授業改善策を確実に実施し、充実した授業づくりを更に進める必要がある。</li> </ul>	授業改善策の着実な実施と授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>a PDCAサイクルに基づき、保護者アンケートの結果を検討し(C)、策定した改善策を着実に実施する(A)。</li> <li>b 個別の指導計画を活用すると共に、個別面談、懇談会等を充実させ、保護者へのきめの細かい情報提供を実施する。</li> <li>c 教育課程の検討を進め、生徒一人一人の可能性の実現につながる授業づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学部ごとに策定した授業改善策が実施されている。</li> <li>個別の指導計画が活用され、個別面談、懇談会の充実や保護者の声を聞く機会の増加等がなされている。</li> <li>各学部ごとの教育課程の検討により具体的な授業の改善がなされ、保護者に説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 各学部ごとに策定した授業改善策を、進捗状況を確認しながら着実に実施した。</li> <li>b 各学部で個別の指導計画に基づいた指導を進め、授業参観・懇談会・個別面談・各種のたよりなどを通じて保護者との情報共有に努めた。</li> <li>c 授業の内容の検討を進め、児童生徒個々に応じた授業を実践した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルに基づいた授業改善、個別の指導計画に基づいた指導の充実を今後も進めていく。</li> <li>新学習指導要領の研究を進め、その改訂趣旨の実現に努めていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談、学校支援、公開講座等の充実が図られているが、これらを組織的にバックアップする必要がある。</li> <li>支援籍学習、居住地校交流は軌道に乗ってきているのでこの取組を更に充実させる必要がある。</li> <li>学校見学会等を実施して学校公開を進めているが、更にNet Commonsを活用した情報発信の充実を図る必要がある。</li> </ul>	開かれた学校づくりと特別支援教育のセンター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 教育相談(校内・校外)、学校支援、公開講座等に対し、新分掌「地域支援部」を中心に組織的に対応する。</li> <li>b 支援籍学習、居住地校交流の更なる充実のため、関係者会議の実施等、具体的な方策を検討し、実施する。</li> <li>c 学校見学会等の学校公開の取組を充実させる。</li> <li>d Net Commonsを活用したHPの充実を図り、地域保護者への情報発信の充実を図る。</li> <li>e 三十周年式典を通じて本校の存在を地域にアピールする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援部の運営が円滑に行われ、組織的に特別支援教育のセンター的機能が発揮されている。</li> <li>支援籍学習、居住地校交流の充実に関し、関係者会議等、具体的な取組がなされている。</li> <li>学校見学会等の取組の充実がなされている。</li> <li>HPの機能的運用がなされ、内容の充実や更新回数増加等がなされている。</li> <li>式典の出席者が本校に対し好意的評価をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 地域支援部として公開講座・ボランティア・校内教育相談等を組織的・計画的に進めた。校外教育相談143件、小中学校支援30校に対応、アンケートで良好な評価を得た。</li> <li>b 支援籍・居住地校交流では、アンケート調査で概ね良好な評価を得る一方、保護者の要望も明らかになった。関係者会議は実施に至らなかった。</li> <li>c d e 学校見学会はアンケートで良好な評価を得た。HP、三十周年式典はアンケートで一定の評価が確認された。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに効率を高めるために年度当初から地域支援部の仕事分担等を明確にする。</li> <li>市教委と連携し、校長会及びコーディネーター会議等の場で支援籍理解を進める。また、支援籍の取り組みについて、保護者・学部・担任の要望を聞きながら取り組む。</li> <li>センター的機能について保護者会等での説明など保護者の理解を深める方策をとる。</li> <li>HPについては、各学部学年で運営していく地固めを進めていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部を中心に現場実習等の充実を努めているが、就労支援ネットワークの活用等、指導の工夫を進める必要がある。</li> <li>生徒の進路意識の向上を図る必要がある。</li> </ul>	就労支援体制の充実と生徒の進路意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 就労支援ネットワークの活用等により進路指導の内容の充実を図る。</li> <li>b 生徒の進路意識の向上を図る学習や、早期からの進路指導に取り組み、また保護者への情報提供を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の進路指導に就労支援ネットワークの活用がなされている。</li> <li>早い段階からの生徒の進路意識向上のための指導がなされている。</li> <li>保護者への情報提供の工夫がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 就労サポーター、職業教育アドバイザー、就労支援センターとの連携が図られ個別移行支援計画を基本とした就労支援体制が構築されつつある。</li> <li>b 学校全体で進路意識を高める指導を実施した。</li> <li>c 掲示物の改善等を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援ネットワークからの情報の迅速、有効な活用方法を検討する。</li> <li>学校側からのアピールを継続し、家庭と連携して、小学部段階から進路に対する関心が高まるよう保護者に働きかけていく。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の安全確保には細心の注意を払っているが、十分な対応に至らないケースも存在した。</li> <li>公教育機関としての信頼を確保し、充実した学校運営を実現するため明るいガラス張りの学校運営を実現する必要がある。</li> </ul>	安全・安心・信頼を柱とする学校の基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 児童生徒の事故防止の体制を強化し、安全対策を充実させるとともに、保護者への説明責任を果たしていく。</li> <li>b 公務員としての規範意識の一層の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒に係る重大な事故の発生を防止している。</li> <li>事故発生時の状況等を保護者に適切に説明している。</li> <li>服務規律の確保等、適正な学校運営がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 指導中の事故が発生しており、引き続き事故防止を図る必要がある。</li> <li>b 公務員倫理に関する研修会等を実施し、教職員の職責に対する自覚と倫理性が高まった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、安全確認・指導方法・児童生徒の実態把握を進め、事例検証・研修会を実施するなどして教職員の事故防止に対する共通理解を深めていく。</li> <li>研修会の充実等により、公務員倫理のさらなる向上を目指していく。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成22年	2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善策を着実に実施し、授業改善に努めていることは評価できる。三郷特別支援学校の卒業生は作業所などでもともしっかりと活動しており、これも学校での授業の成果だと考えられる。教職員は健康管理に留意して、今後もよりよい授業を目指してほしい。</li> <li>今年は校内に地域支援部をつくり分掌として対応していることは評価できる。また、支援の件数も多く、質的にも高いものになってきていると考えられる。支援籍では受入れ校に溶け込むことができている。受入れ校の状況に応じ、よい形で受け入れてもらえるようにしていくことが必要だ。HPについては、支援のためのアクセスか入学のための情報収集かを押さえておきたい。特に入学を考えている保護者は必ずHPを見ているので、更新が重要だ。地域との交流では本校と小・中・高等学校の交流を実施しているが、よい取組である。また、地域のイベントに参加する、地域住民の方々に積極的に挨拶をする等に留意してほしい。</li> <li>就労支援ネットワークを活用しての進路の取組は充実してきていると考える。また、卒業生に対するケアにもしっかりと取り組んでいる。今後とも進路指導体制の充実を努めてほしい。</li> <li>引き続き、児童生徒の安全確保に努めてほしい。過日、PTAの出張で安全教育の研修会に参加したが、その折、子どもたちの通学時の自転車事故が多くなっているという話があった。本校でも交通安全教育の充実を努めてほしい。</li> </ul>		